



2023.4.18

## SaloneSatellite /サローネサテリテ 2023 教育の価値とデザインの未来との密接な関係についての考察。 光への特別なオマージュとともに。

デザインを志す若者の新鮮な眼差し寄り添う必要な学問的トレーニングとは何か。未来のデザイン界はどうなっていくのか？若者のクリエイティビティに特化したこのイベントは、デザインの方向性を広く見据えています。そして、エウロルーチェと同じホールを共有し、光へのオマージュを込めた重要な展示を開催します。

4月18日から23日まで、Salone del Mobile.Milano /ミラノサローネ国際家具見本市(以下、ミラノサローネ)の13-15ホールで、Marva Griffin/マルヴァ・グリフィンが1998年に創立し、35歳以下のデザイナーに展示スペースとビジネスチャンスを与えるためにキュレーションしている第24回サローネサテリテも開幕します。今年はデザイン学校と大学に焦点を当て、未来のデザイナーの育成とデザインの発展に、これからも計り知れない貢献をしていきます。

サローネサテリテが創設した頃から、デザインに特化した新しい学校やコースが次々に誕生し、支持されてきました。そのため、第1回目の開催から、ミラノサローネでは彼らにスペースを割り、可視性を高めています。それぞれの教育方針の特徴を生かしながら、世代を超えてデザイン適性を刷り込み、個々の声を引き出していく様子を目の当たりにしてきました。

### 【デザイン学校・大学 / (IM)POSSIBLE を組み立てるプロセス、進歩、実践】

これが今回のテーマです。特に、デザイン学校・大学は、卒業生となる学生の展示デザインや発表作品を通じて、「Design:DOVE VAI? (WHERE ARE YOU GOING?)」という問いかけに答えることが求められています。各教育機関の貢献によって、理想的なデザインビジョンの全体像を描くことができ、そこから、私たちを待ち受ける次の課題を知ることができます。そして、その課題をデザインとその教育の観点からどのように解決できるかを学ぶことができます。環境、経済、社会のバランスが大きく変化する時代において、学生や新進デザイナーに、これからのイノベーションの意味を指し示してくれる貴重な指標となることでしょう。



### 【建築家 Ricardo Bello Dias /リカルド・ベッロ・ディアスによるレイアウト】

この教育プロセスとデザイナーのデザイン開発との密接な関係を視覚化するため、18 カ国 28 校のブースが会場の外周に沿って、31 カ国約 550 人の出展デザイナーを取り囲むように展示されます。リカルド・ベッロ・ディアスによるレイアウトは、同じ 13-15 ホール内で開催されるエウロルーチェからインスピレーションを得たものです。このように、自然光とそれが意味するもの、つまり人生と学習プロセスのメタファーが、35 歳以下の空間のライトモチーフとなるのです。

### 【サローネサテリテ・アワードのエリア】

太陽と月の存在が際立ち、イベント全体の美学を際立たせる要素となっています。2 つの広場に望遠鏡を設置し、デザインの現在と未来を映し出す架空の空を鑑賞できる特別なインスタレーションを行います。光と影の戯れ、夜明けから夕暮れまでの光の色の変化から、インスタレーション全体の舞台装置とグラフィックが形作られます。

### 【特別展示「SATE...LIGHT. 1998-2022 SaloneSatellite young designers」】

ホール 13-15

サローネサテリテは、エウロルーチェに敬意を表し、特別展示「SATE...LIGHT. 1998-2022 SaloneSatellite young designers」をホール 13-15 にて開催します。2 つのエリアの境界に象徴的に設置され、光のプロジェクションで示された境界には、長年にわたってサローネサテリテに参加したデザイナーがデザインし製品化された照明が展示されます。将来を担う若者に賭けた企業とのコラボレーションにより生まれた作品群です。サローネサテリテで生まれ、成功を取めたこれらのパートナーシップは、クリエイティビティとビジネスの出会いを促進するというミラノサローネの主たる目的を明確に示しています。

### 【第 12 回 SaloneSatellite Award/サローネサテリテ・アワード】

4 月 19 日(水) 15:00、ホール 13、SaloneSatellite Arena (サローネサテリテ・アリーナ)

最もふさわしい 3 つのプロジェクトに賞が与えられます (Honourable Mentions/特別賞 2 作品まで)。候補となったプロトタイプは、例年通りサローネサテリテ会場に展示され、第 1 回目から審査委員長を務める MoMA 近代美術館の建築・デザイン部門のシニアキュレーター兼研究開発ディレクターであるパオラ・アントネッリ氏率いる国際審査員団によって評価されます。



### 【ガエタノ・ペッシェ講演】

4月18日(火) 15:30、ホール 13、SaloneSatellite Arena (サローネサテリテ・アリーナ)

イタリアの彫刻家、デザイナー、建築家であり、長年ニューヨークを拠点に活動してきたマエストロ、ガエタノ・ペッシェをサローネサテリテのリーナに招き、その長いキャリアの主要なステップとデザインの世界に対する学際的な貢献について語るトークイベント、「Capire il futuro (未来を知る)」も大きな期待を集めています。

### 【ラウンドテーブル開催:5カ国から5校参加】

4月20日(木) 15:00、ホール 13、サローネサテリテ・アリーナ

参加28校のうち、ECAL(スイス)、SCUOLA DEL DESIGN / POLITECNICO DI MILANO(イタリア)、TONGJI UNIVERSITY(中国)、DESIGN ACADEMY EINDHOVEN(オランダ)、SCHOOL OF DESIGN / PRATT INSTITUTE(アメリカ)の5校の代表によるラウンドテーブルを開き、第24回のテーマをテーマにディスカッションします。この代表5人(Alexis Georgapoulos、Luisa Collin)は、できるだけ広範囲な議論ができるように、異なる地域から選出され、特にサローネサテリテ出身デザイナーの多くが所属する学校・大学が選ばれています。Design: WHERE ARE YOU GOING? を議題に、2023年の開催に招待されたすべての権威ある国際機関にも投げかけられ、各機関のブースでは、各コースの学生、卒業予定の学生、教師がアドホックなプロジェクトに応じました。

サローネサテリテは4月18日から23日まで会期中通して一般公開、入場無料です。Cargo 4からは無料で直接アクセスできます。また、ミラノサローネの入場券をお持ちの方は、エウロルーチェからアクセスできます。

プレスお問い合わせ先: 山本幸 yuki@milanosalone.com

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti press@salonemilano.it